

指定管理者制度導入施設の管理運営検証結果【検証シート】

		管理No.	
施設の名称	山形県立自然博物館	指定管理者	特定非営利活動法人エコプロ
所在地	山形県西村山郡西川町大字志津159	県担当課	みどり自然課
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日	(電話番号)	(023-630-3173)
検証期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日		
検証項目	指定管理者による自己検証	県(施設所管課)による評価・検証	
1 仕様書等に沿った管理・運營業務の履行状況			
① 管理・運營業務の履行状況	・施設(ネイチャーセンター及び野鳥観察小屋)及び園路の整備点検は、職員が随時行った。施設の機械設備、電気設備、浄化槽設備などの保守点検、雪困いの脱着作業は専門業者に委託し行った。管理車道の春季除雪について、西川町に協力を依頼しロータリー除雪車を借りて行った。	評価	《評価の理由》 施設の維持管理について、事業計画書に従い、適切に実施されている。また、各種行事等も計画どおりに実施されている。
② 管理・運営上の課題、問題点(改善すべきこと)	①雪害と老朽化によりNCの雨戸の損傷が大きくなり、西側軒天のモールが落下した。②キュービクルに引き込む電気ケーブルの交換時期が過ぎているため交換が必要とされる。③石跳川に架かる橋が流出することが近年多くなっているため、抜本的対策の必要性を感じる。		《課題等の原因分析》 ・天候の影響と施設の老朽化
課題、問題点への今後の対応	①、②予算確保を検討していく。 ③橋の復旧は対応中。対策については今後検討していく。		
2 利用者からの要望等への対応			
① 意見・要望等及びその対応状況	定時案内の時間について、利用者の多くが主婦層で朝夕の時間が忙しいため、午前9時30分開始は早すぎで、午後1時30分開始は遅いので、朝は30分遅く、午後は30分早くずらしていただくと助かりますと意見をいただいた。行事や団体予定、その他の業務もありスタッフに余裕がない場合は従来通りだが、その限りでない場合は、時間をずらしたガイドウォークの実施を実施した。今後アナウンス強化を図り、予約制や時間対応を検討する。	評価	《評価の理由》 積極的に利用者の要望に耳を傾けて、柔軟に対応している。
意見・要望等への今後の対応	上記対応を継続していく。		
3 指定管理者制度活用の効果			
① サービスの向上	・地元中学校の職場体験の受け入れに協力 ・玄海広場及び玄海散策路のツルや小枝を切り落とし堆積物を除去する再生活動の継続。 ・小学校および中学校への出前授業の実施	評価	《評価の理由》 ・地元西川町の事業に協力している。 ・利用者のために職員自ら広場・園内の修繕等を実施している。 ・博物館に来る前の事前学習として、出前授業を実施することで利用者の理解が深まるように工夫している。
② 経費の節減	こまめな消灯による節電 有志による遊歩道の修繕 裏紙使用	評価	《評価の理由》 節電の実施、指定管理者の自らの修繕により経費を抑制している。
③ その他(地域の活性化、雇用の確保等)	・西川総合開発温泉館にスケッチクラブ作品を展示している。 ・冬の活動の充実を図る上で、西川・月山スノーシューパーク事業、月山スノーランド事業に積極的に関わっている。 ・雇用については、半年営業の為、職員の継続雇用を得るには難しいのが現状ではあるが、今年度も確保している。	評価	《評価の理由》 地元西川町の事業と積極的に連携して地域の活性化に大いに貢献している。 様々な地域からボランティアスタッフを受け入れることで、交流人口の拡大にも貢献している。また、季節配置ではあるが職員の地元採用にも努めており、雇用面でも地域に貢献している。
総合的な評価	・包括協定書、年度協定書、仕様書に基づき施設の適切な管理運営を行っている。 ・特に施設管理については、経費節減の意識を持ちながら取り組んでいる。 ・自然環境学習施設としての機能を充実させ、利用者の立場での対応を心掛けるなどサービス向上にも努めながら、SNSによる情報発信や主催事業の見直し、ターゲットを絞った広報策など、世の中のニーズに合わせた運営に取り組んでいる。 ・地元や関連団体との共催事業、ボランティアとの協働、地元雇用など地域活性化の役割も果たしている。		

【評価指標】

- A : 仕様書等に定める水準を上回っている等、優れた対応がなされている。
 B : 概ね適正に実施されている。
 C : 部分的に改善等を要するところがあるが、既に対応済み又は対応見込みである。
 D : 仕様書等に定める水準に達しておらず、大いに改善を行う必要がある。

注) 検証項目については、施設の特長等に応じて適宜追加することができるものであること。